

一般質問通告書

佐野市議会議長 様

受付	番号 12
	令和 3年11月25日
	午前・午後11時20分

議会名	令和3年 第7回 佐野市議会定例会	
発言者	議席番号 16番	鈴木 靖宏
答弁を求める者 (選択してください)	市長・副市長・教育長・担当部局長	
一般質問時に使用する資料の有無 (選択してください)	あり (資料提示・資料配付・モニター使用) なし	
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)	
1. 災害対策や水難救助等の緊急時対応及び市有施設の保守点検に活用できる小型無人航空機 (ドローン) の導入について		
(1) 小型無人航空機 (ドローン) の災害時応援協定の現状について	① 小型無人航空機 (ドローン) の災害時応援協定の協定内容と協定件数について聞きたい ② 過去の災害等で、協定先等に応援要請を実施したことがあるのか聞きたい ③ 応援要請で得られた情報 (画像や映像等) について聞きたい ④ 応援要請の入手資料に基づいて、佐野市防災計画やハザードマップ等に関する変更等の有無について聞きたい	
(2) 災害などの緊急時対応で利活用できる小型無人航空機 (ドローン) の導入について	① 過去の災害において、緊急車両等が現場に急行できないケースがあったのか聞きたい	

<p>(3) 市有施設(橋梁や屋根・屋上及び道路等)の保守点検に活用できる、無人航空機(ドローン)の導入について</p> <p>2. 火災や震災等の初期救助活動に高い機動性を発揮する消防活動二輪車・災害活動二輪車(通称「赤バイ」)の導入について</p> <p>(1) 過去の山林火災や山岳救助について</p> <p>(2) 令和元年東日本台風災害時の対応について</p>	<p>② 災害時等、人が近づけない環境を小型無人航空機(ドローン)で情報収集することにより、発生直後に撮影した動画を用いて迅速に被害の全体像を把握し、災害対策本部や現場指揮所等での活動方針を迅速に策定することができると思うが、小型無人航空機(ドローン)を導入した場合の有効性をどの様に考えているのか聞きたい</p> <p>① 市有施設の保守点検で、小型無人航空機(ドローン)を活用している自治体が増えているが、作業効率や安全面を考慮し導入を提案するが、考え方を聞きたい</p> <p>① 林野火災件数と山岳救助件数について聞きたい</p> <p>② 各出動時の車両体制や組織について聞きたい</p> <p>① 台風災害で道路寸断や橋梁の流出があり、迂回路又は徒歩等で現地に入られたということですが、現地での情報収集や現場対応等でどのような活動を実施したのか聞きたい</p> <p>② その際に、専用車両や赤バイ等活用すれば緊急対応ができていたのではないかと考えますが、消防活動二輪車・災害活動二輪車(通称「赤バイ」)の導入の考え方を聞きたい</p>
---	--